

カーデザイナーにできること what should CAR DESIGNERS do?

「ワクワクするものづくりの楽しさを通して、子供たちを元気にしよう！」

東北・関東地方を襲った未曾有の大災害に対し、デザイナーとして何かできることはないかとずっと悩んでいました。現地へ赴くこともままならず、無力さに苦しみながらたどりついた答えは、「ワクワクするものを作って、子供たちを元気にしよう」というものでした。3月22日に活動を開始した後、共感して下さる多くのデザイナーやクリエイターのみなさんにご参加いただいて現在に至っています。

物を作る創造力は、社会を作る創造力につながります。被災した子供たちに、「元気」と「もの作りの楽しさ」と「創造力の大切さ」を伝えられる場にしたいと思います。これからの未来を作る大切な子供たちの創造力を養うお手伝いができればと思っています。

この活動では、「ミニ四駆」を題材に、以下の内容を実施していきます。ワクワクするものを見て、自分でもワクワクしながら組み立てて、走らせてみる。ものづくりの原点を体験してもらえるような企画を考えています。被災地とそれ以外の地域を、ものづくりの力で結ぶ活動を行ないます。

1. オリジナルミニ四駆作品の募集

デザイナー、クリエイターのみなさんからオリジナルミニ四駆作品を募集します。制作の段階で描いたアイデアスケッチなどもあわせて募集し、子供たちに、完成品だけでなく、ものづくりのプロセスも見てもらえるように工夫します。

2. 避難所の子供たちのための展示会・工作教室の開催

避難所の子供たちのために、クリエイター作品展示会と無料ミニ四駆教室を開催します。ミニ四駆教室では説明書通りに組み立てるのではなく、アイデアスケッチを描き、廃部品などの様々な素材も用いて、自分なりのアイデアをカタチにします。

3. クリエイター作品・子供たちの作品のチャリティー展示会の開催

各地でチャリティー展示会を開催します。クリエイター作品と共に子供たちの作品も展示し、募金箱を置いて来場の方々から募金を集めます。

4. クリエイター作品オークションの実施

一定期間ののち、作者の了承の得られたクリエイター作品をオークションにかけ、落札金額を募金します。

子供たちが元気になれば大人たちも元気になります。みなさん、ぜひ活動にご参加いただき、いっしょに「ワクワクするものづくりの楽しさ」を通して、子供たちを笑顔にしましょう！

発起人：根津 孝太 (znug design, inc.)

「なんでミニ四駆なの？」

いくつか理由がありますが、まず第一に、避難所で「展示してある作品と同じもので子供たちが遊べる」ということを大切にしたいと考えています。

また、「作品づくりをやってみよう」と思っただきやすいことも大切にしています。ミニ四駆は価格も作業量も適度で、かつ、各個人が得意の技法で制作していただけるので、個性が出やすくおもしろいと考えています。同じベースを用いることによって、逆に各個人の技法やアイデアのバリエーションが引き立つと考えています。

長年にわたり、子供たちに「自分で考え工夫して作ることの喜び」を提供し続けてきた、歴史あるすぐれた教材だと考えています。

もっと詳しく知りたい方、最新情報は…

ウェブ：www.mobilabo.net/cdd/ 活動の詳細、参加クリエイターのみなさんの紹介、作品の紹介など。

ブログ：mobilabo-cdd.blogspot.com/ クリエイターのみなさん自らが綴る作品制作日記や最新情報。

メール：info@mobilabo.net お問い合わせはこちらまで。(本活動は株式会社タミヤとは関係のない有志の活動です。)